

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013



Vol.26
11・12月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



コールフантаジア 「BS-TBS 日本名曲アルバム」より

心に灯る あたたかな音楽

== INDEX ==

Pick Up Artist

コールフантаジア (混声合唱団)
鈴木 理恵子 (ヴァイオリニスト)

『東へ西へ』

さくらプラザ 自主事業レポート

真夏のこども探検隊 / こどものための芸術の学校

連載

特待生による コンサート・レビュー
吹奏楽の達人

男は背中で物語る 戸塚見返親仁

出張! 戸塚新聞

なるほど! THE LEAPS の戸塚お稽古道場

Pick Up Artist ①

混声合唱団 洗足学園音楽大学 コールファンタジア

～私たち、コールファンタジアが歌うという事～

BS-TBSでお馴染みの混声合唱団、洗足学園音楽大学コールファンタジアのみなさんが、12/3(日)名曲サロンVol.11に初登場。今回はコールファンタジアの中心メンバーにインタビューを行ってきました。女声合唱団から混声合唱団への変化、メンバーが語るコールファンタジアの魅力に迫ります。



後列左より 青山航・加藤詩菜・磯山真澄・櫻井亮太
前列左より 吉田靖子・橋口未夢・浅沼美穂

—まずは、コールファンタジア結成のきっかけについて聞かせてください。

加藤 詩菜(以下、加藤) :BS-TBS「日本名曲アルバム」から学校への出演依頼をきっかけに、2013年に結成しました。最初は先生からお声掛けいただいたメンバーによる女声合唱団として出演をしました。元々は一回きりの収録の為に集まりましたが、その後も続けて演奏の機会を頂くことができ、現在では学内音楽コースの優秀な学生による選抜学生メンバーと、先生から直接お声掛けいただいたメンバーで構成されています。

—女声合唱団として結成し、その後、現在のような混声合唱団になっていったということなのですね。

加藤 :BS-TBSの方から「混声合唱で演奏をしていただけませんか」とご依頼頂き、自然と混声合唱団となりました。女声合唱には女声合唱の良さがありますが、混声合唱になり男性が入ることでハーモニーに厚みが出ますし、音域の幅が広がるので迫力も生まれてきます。そのあたりを楽しみながら歌えるのが混声合唱の魅力だと思っています。

—男性の方は、女声合唱団の中に入っていきことに戸惑いなどありませんでしたか？

青山 航(以下、青山) :初めは凄く怖かったです(笑)！ というのも、コールファンタジアは、テレビ出演をする為の選抜メンバーの集まりというイメージがありました。それに男性は女性に比べると人数が少なかったため、ひとり1パートを担当する、ほとんどソロで歌っているような形だったので、そのあたりも不安でした。

最近では男性のメンバーも増えてきましたので楽しくやっています。

—テレビ収録とお客様の前で歌っているときの大きな違いはどんなことでしょうか？

青山 :結構目の前までカメラが来るんです。カメラを気にしてしまうとカメラ目線になってしまうので、意識しすぎないように注意していますね。今までの経験では無かったことなので、とても勉強になります(笑)。

浅沼 美穂(以下、浅沼) :普段の演奏会ですと、お客様は目の前にいらっしゃいますので表情が伝えやすいですが、テレビ収録ではカメラとスタッフの方だけです。ですから、どういった気持ちで歌ったらいいのか、気持ちのコントロールが悩ましいことがあります。

—日本名曲アルバムで披露されている歌の中には、歌っている皆さんが原曲を知らない事もあると思うのですが、どのようなイメージで歌っていらっしゃいますか？

浅沼 :名曲なので知っている曲はもちろんありますが、中には知らない曲もあります。昔の動画や音源などをインターネットで調べ、聴いたり観たりして勉強しています。そして、合唱用に編曲された曲の中で原曲のイメージを意識して、コールファンタジアの表現を作り、演奏するようにしています。

青山 :日本名曲アルバムでは、フォークソングやポピュラーソングを合唱用にアレンジしてあります。ギターや弾き語りや演奏されていた曲を20人で歌う合唱用にアレンジすると、原曲と違う雰囲気曲になることがあります。

でも、それはそれで良いと考えています。コールファンタジアの歌として表現できれば、意義があるのではないのでしょうか。

—「コールファンタジアの表現」というお話がありましたが、コールファンタジアの魅力とは？

加藤 :コールファンタジアは絶対に暗譜で歌います!!
吉田 靖子 :暗譜だと、体の中に歌詞や音色が入ってくるので、練習回数の少なさや、収録という環境が違う中でも、よりレベルの高い曲作りが行えます。

青山 :それ以外に、仲が良いのも大きな特徴です。メンバーには卒業生も多いので、練習に来ると様々な年代の方に会えます。練習中もついつい雑談で盛り上がりたり(笑)。とにかく居心地がいいですね。

—2015年にはイタリアで演奏をされたということですが、これはどういったきっかけだったのでしょうか？

橋口 未夢(以下、橋口) :メンバーのご縁があり、お招きいただきました。日本の曲だけではなく、その土地の民謡や、王道のクラシックも歌いました。また、現地の男声合唱団と一緒に演奏をさせていただき、普段できない経験をする事ができました。

—外国語の曲やクラシックの曲を演奏することは、それまでもありましたか？

青山 :コールファンタジアとしてはほとんど歌ったことはなかったです。もちろん個々では勉強し歌っていましたが、グループで歌うのはとても面白く感じました。これからも機会があれば歌っていきたいと思います。



BS-TBS「日本名曲アルバム」より



—イタリアで日本語の曲を披露するのは、どのような感じでしたか？

橋口 :歌詞はもちろん日本語なので、意味は外国の方にはわからないですし、メロディーも外国の音楽とは違いがあるので伝わるのか不安でしたが、とても喜んで頂きました。

—最後になりましたが、12月3日さくらプラザ公演での聴きどころをお願いします！

磯山 真澄 :コールファンタジアという活動を続けていくことが、後に続く方たちの音楽を続けるきっかけになるのではと考えています。今回の公演ではたくさんの方に「洗足って良いな」「音楽っていいな」と思ってもらえるように一生懸命頑張ります。

櫻井 亮太 :今回は日本の名曲だけではなく、様々なジャンルの曲をご用意しています。どなたでもきっと楽しんで頂けると思います。冬の寒さに負けず、さくらプラザへお越しいただき、温かい気持ちになってお帰り頂ければとても嬉しく思います。

—ありがとうございました。

(取材・構成・写真:近藤 喬之・板澤 桂子)

洗足学園音楽大学 コールファンタジア

BS-TBS「日本名曲アルバム」からの出演依頼がきっかけとなり、2013年女声合唱団として発足。現在は混声合唱としても活動。日本名曲アルバム、150回記念スペシャルコンサートの他、BS-Fジ、NHK等の番組にも出演。また、2014年から被災地支援チャリティーコンサートに出演し、東北各地で演奏。その他、CD録音や新作合唱曲の初演等、多方面に活動の幅を広げている。2015年3月にはイタリア・ウディネ市より招聘され、コンセルヴァトール・ウディネで演奏し、現地の新聞、テレビ等でも取り上げられ好評を博した。

名曲サロン Vol.11 洗足学園音楽大学 コールファンタジア ～心あたたまる午後ひととき～
2017年12月3日(日)14:00開演(13:30開場)

*詳細は裏表紙をご覧ください。



ヴァイオリニスト 鈴木 理恵子

～室内楽は作曲家の想いが詰まった究極のかたち～

2014年より12回にわたる室内楽シリーズをセルフプロデュースされている鈴木理恵子さん。
12月からはいよいよ「シーズン2」がスタートします！
室内楽の魅力とともに、今後のシリーズがもっと楽しみになるお話を伺いました。

—これまでにシリーズ 6公演を開催されましたが、特に印象に残っている公演はありますか？

鈴木 理恵子(以下、略):

どの公演も印象深いですが、初回の「ヴァイオリン珠玉の名曲集」ですね。室内楽にぴったりのホールだと感じ、シリーズをできる喜びがとても大きかったです。出来たばかりのホールは大抵音が硬いのですが、そのような感じはほとんどなくて、これからどのように音が変わっていくのだろうと楽しみになりました。お客様も温かく迎えてくださり、とても思い出深い公演です。

今シリーズは「鈴木さんの好きな内容で」と(さくらプラザに)言っていただけですので、毎回強い思い入れを持ってプログラミングしています。

—鈴木さんが考える室内楽の魅力をお教えてください。

室内楽は“小さいサロンで楽しく演奏すること”と思われ、もちろんそのような目的で作られたものもありますが、音楽を凝縮し練り込んでいて表現することができる、作曲家の想いが詰まった究極のかたちだと思っています。

それから、個々の細かいニュアンス作りから始まり、オーケストラのような壮大なストーリー性まで幅広く表現することも魅力。「主観的であり客観的」「主張的であり描写的」。室内楽はその共存だと思っています。

学生時代は三重奏、四重奏、五重奏……と、様々なところで演奏させていただきました。卒業して新日本フィルハーモニー交響楽団に入ってから演奏機会に恵まれましたね。御茶ノ水のカザルスホールで行われた「ハイドン全曲演奏シリーズ」では、小編成のオーケストラ＆室内楽ということで毎回お声がけいただいたので、みなさんが通常なら絶対弾かないような曲を本当にたくさん弾かせていただいて。その頃は若いから必死でした。



過去の公演チラシとともに思い出を伺いました。



2014年12月14日開催「ヴァイオリン 珠玉の名曲集」より

経験を積み30代を過ぎてからは、音楽を練り込み直し、改めて再構築するということを始めました。こちらの室内楽シリーズでも二重奏から始めましたが、まずは2人で緻密なものを作っておかないとうまくいかないんです。まずは曲の魅力をできるだけ細かく練り上げ基本を作った上で、その瞬間でしかできない演奏を目指したいと思っています。

—共演する方はどのように選ばれているのでしょうか？

演奏技術もちろん大事なのですが、1番大切なことは誠実さや人柄だと思っています。人柄は音楽に現れるので、何年もかけてメンバーは考えますね。

演奏者として何十年もやってきましたので、その方がどういう考え方をお持ちなのかはある程度わかっています。そのため基本的な方向性に相違はないし、変なぶつかり合いも一切ないです。ただ、そのメンバーでしかできない演奏や刺激はどんどん出てきますね。

—次回公演について教えてください。まず 12月の Vol.7は若手アンサンブルのレスパス弦楽四重奏団と共演されますね。

プログラムにある、ショーソン「ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のための協奏曲(コンセル)」はピアノとヴァイオリン、カルテットが対等に大きなうねりを作りクライマックスに向かっていく素晴らしい曲です。いずれ今シリーズで演奏したいと思い、若手の弦楽四重奏団を探してきました。弦楽四重奏団って、実はなかなか活動が続かないんですよね。メンバーチェンジも多々あります。

レスパス弦楽四重奏団は自分たちのカルテットにとっても愛情を持って接していて、誠実。実力も“若手のホープ”なので、ぜひ彼らにお願いしたいと思いました。

—ショーソンの他にどのような曲を演奏されますか？

前半はピアノとヴァイオリンのデュオで2曲演奏します。まずはベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ 第7番」から始まります。男性的で雄大な曲です。

2曲目はグリーグ「ヴァイオリン・ソナタ 第3番」。映画のような情景的な曲です。清らかな空気や太陽の輝き、大自然の息吹のような描写。初めて聴いた方でも北欧のイメージが浮かぶと思います。一方で激しい部分もある名作です。ショーソンを含め聴きごたえのある3曲をお届けします。

—2018年 2月の Vol.8では、ベテラン勢が揃いますね。

チェロの藤森 亮一さんはNHK交響楽団(N響)の現首席奏者、ヴィオラの川崎 和憲さんもN響の前首席奏者でした。

吉村 知子さんも新日本フィルハーモニー交響楽団の第2ヴァイオリンの首席奏者ですので、オーケストラを知り尽くしている、室内楽の真の実力者たちです！ この組み合わせは初めてでわたしとても楽しみです。ぜひ期待して欲しいですね。

演奏するハイドン「ひばり」とドヴォルザーク「アメリカ」は、弦楽四重奏の中で1番の名曲と言われています。名曲と言われるものは、良い演奏をすることが実は1番難しいんです。このメンバーならではの挑戦になりますね。どちらもあまりによく弾かれるため、パツと集まって弾くというのが定着している曲でもあります。それをあえて、よく練っていかないとと思っています。

ブラームス「ピアノ五重奏曲」も言うまでもない傑作です。歌と室内楽をこよなく愛したブラームスがシンフォニーに込めたものと同じくらい、想いを凝縮したピアノ五重奏曲ですね。

—本当に楽しみですね。ところで若林さんはどのようなピアニストでいらっしゃいますか？

ヴァイオリンに合わせて微妙に音程を変えてくれます。タッチや、バランスなんですか？ ハーモニーによって、絶妙に音程・音色が変わるんです。

演奏していると、音と音がぶつかってしまいがちハモらない場合もやはりあるのですが、彼は絶対ハモる。技と意識なんだろうね。「こういう風にヴァイオリンの音が来るから、それに沿うように」って。すごいと思います。



—「ハモること」は微妙な調整からできているんですね。

弦楽四重奏もみんな強く弾いてしまうと絶対にハモらないんです。外声(*)の人がこう弾いたときには内声の人は調節する、逆に内声の人が前に出てきたときは外声の人が調整するとか。必ず細かく調整しないとイケない。そういった微妙な調整がお客様にも伝わるように演奏できることが理想です。

学生の頃は話し合っていました、今は話さなくても呼吸やちょっとした音でほとんど通じます。言葉が必要な場合もありますが、言葉が要らなくなるのが理想的だと思います。

—最後にお客様へのメッセージをお願いします。

シリーズが始まり今までは二重奏、三重奏でしたが、12月からのシーズン2は四重奏、五重奏となります。名作・傑作揃いのプログラムですのでお楽しみいただければと思います。そしてこのメンバーならではの演奏をご期待ください！

—ありがとうございました！

(取材・構成・インタビュー写真／桑田 春花)

*…ハーモニーの1番高い音と低い音は外声、それらに挟まれた中間の音は内声と呼ばれる。



鈴木 理恵子(ヴァイオリン) Rieko Suzuki

桐朋学園大学卒業後、23歳で新日本フィル副コンサートマスターに就任。読売日本交響楽団の客員コンサートマスター等を歴任。篠崎功子、J.ギンゴールド、H.シェリング、N.ミルシュタイン、M.シュヴァルベに師事。1997年からはソロ活動を中心に活動。国内にとどまらず、ヨーロッパやアジア各国にも招かれ、絶賛されている。これまで9枚のCDをリリース。最新作は若林頭とのデュオによる「モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ集 vol.2」(オクタヴィア レコード芸術特選盤)。

■オフィシャルホームページ <http://riekosuzuki.com/>

鈴木理恵子 室内楽シリーズ
Vol.7
ヴァイオリン、ピアノと 弦楽四重奏の
コンチェルト！
2017年12月16日(土)14:00開演(13:30開場)

Vol.8
カルテット&ピアノ五重奏 傑作選
2018年2月18日(日)14:00開演(13:30開場)

*詳細は裏表紙をご覧ください。

好評
発売中

まもなく
発売



さくらプラザの客席の椅子は、戸塚をイメージしたデザインで横糸に2種類の差し色が入っている。赤紫のように見える色は桜を、黄緑のように見える色はミズキンバイを表している。



さくらプラザホール客席

柏尾川沿いの桜は見たことがあっても、柏尾川に自生するミズキンバイとなると見た人は少ないだろう。私も、さくらプラザに4年間通っていたにもかかわらず、一度も見たことがなかった。さくらプラザを離れたこの夏、初めてミズキンバイを親に柏尾川を訪れた。

戸塚区総合庁舎のすぐ斜め前、朝日橋の少し先に、川沿いの道へ下りる階段がある。川べりを歩いていると、全身真っ黒なトンボが出迎えてくれた。ハグロトンボだ。

蒲（ガマ）や様々な草が生い茂る草むらの向こう、川の浅瀬になったところに水生植物のミズキンバイがその緑の茎を這い巡らせていた。そのあちらこちらに黄色い花が咲いている。開花時期は6月から9月ということなので、8月上旬から何度か足を運んでいたのだけれど、あまり多くの花を見ることはなかった。もう開花時期が終わってしまったのかと思って訪れた8月30日のこの日、写真のように、それまで見たことがないほどの花が咲いていた。



ミズキンバイは、絶滅危惧種に指定されている。生育が確認されているのは、千葉県、神奈川県、高知県、宮崎県の4県のみで、都市河川では唯一柏尾川だけだ。以前は絶滅危惧ⅠA類だったが、2007年から絶滅危惧Ⅱ類へと絶滅の危険性は少し低くなった。

ちなみに、絶滅危惧ⅠA類時代の仲間には、ラッコ、ニホンアシカ、ジュゴン、コウノトリ、ベニザケなどがある。マボロシオオバツマもここに属するので、まあ、幻レベルだったわけだ。

ところが、2007年に格下げになった。もちろん、絶滅の危機が遠のいたわけだからとてもいいことなのだけれど、まだ絶滅が危惧されていることに変わりはない。

現在の絶滅危惧Ⅱ類の仲間たちには、ウズラ、アホウドリ、タンチョウ、オオワシ、ハヤブサ、アオウミガメ、オオサンショウウオ、オオクワガタ、ギフチョウなどのメジャーどころが集まっている。

ミズキンバイの絶滅危惧加減がわかるようなわからないような顔ぶれだけれど、少なくともこのクラスにいる割には、かなり無名だ。もちろん、これ以外にもアポイマンテアとかハナハタザオとかスプタとか聞いたこともないような生物がたくさんいるわけだから、名も知らぬ多くの生物が絶滅への階段を上っている。柏尾川のミズキンバイも、こんなにも我々の生活の近くにあるにもかかわらず、この知られてなさ、大切にされてなさはあんまりだよと思う。

せめて、オオサンショウウオとかギフチョウくらいには知られていて、ありがたがられる存在であってほしい。

動物や昆虫は注目されやすいけれど、植物はあまり人目を惹かない。人目につかないところに人知れず生えているってこともあるかもしれない。だから、いつの間にか激減して、気づいたときには絶滅しているなんてことになる。

柏尾川のミズキンバイも、このままではやがてレッドリストの階段を昇っていくかもしれない。さくらプラザの座席を観たら、絶滅危惧種「ミズキンバイ」のことを思い出して、この町の自然環境に思いを馳せてほしい。ミズキンバイが残っているのはさくらプラザの座席だけという日が来るなんて、とても切ないことだから。



環境省レッドリスト2017 カテゴリー

分類	定義
絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかな外側で野生化した状態でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの



田中 啓介
Keisuke Tanaka

(株)神奈川共立 施設管理部長。神奈川県公立文化施設協議会幹事(事業副委員長)。横浜市区民文化センター(市民プラザ)館長会議議長。(株)ジェイコム南横浜(旧JCN横浜)放送番組審議会委員(2013-2016)。STスポット、栄区民文化センター、広島県三原市芸術文化センター、戸塚区民文化センターにおいて館長兼事業プロデューサーを歴任。



大野 愛／画家
Megumi Ohno

横浜生まれ、横浜在住。風景画をメインにシマシマ油彩画を制作。Ai名義で日本画も手がける。

《個展》

2017.9 『LATE SUMMER COFFEE TIME』
2017.6 『BEER MEETS ART 大野愛展』SVB横浜(キリンビール横浜工場) etc...

真夏の こども探検隊

2017年7月29日(土)
9:30~16:00

さくらプラザ全館を使って、家族みんなで楽しめるイベントを開催しました。
3年目の「真夏のこども探検隊」テーマは・・・ようこそもしもの国へ!
ご来場人数は 延べ約2,500人。こどもたちの笑顔があふれる1日をレポートします!

※来場者・参加者数は各回の合計です。

「もしもの国」の入口にはヤシの木が! 大きな横断幕でお出迎えます。
そして天井からはふしぎな形のオブジェが……。こちらは事前に開催したワークショップでこどもたちが作った“ストローだけ”でできた飾り! オープンデー当日も「面白いですね〜!」と、親御さんにも好評をいただきました。



ホール 劇団かかし座 夏休みファミリー公演 ふしぎな時間 もしもの国で

出演: 劇団かかし座 / 来場者: 約530名
日本初の影絵劇団として歴史のある「劇団かかし座」が、今年完成したばかりの新作を上演!
手影絵の魅力がたっぷりつまった美しく楽しいエンターテイメントに、大人もこどもも夢中☆
ホワイエでは手影絵体験広場も♪影絵人形や自分の手を使ってスクリーンに映し出し、どんな風に見えるかな?と親子で楽しんでいただきました。

ギャラリー フシギはっけん! SOUKI WORLD

出演: スーパーパントマイムシアター SOUKI(ソウキ)
来場者: 約900名
「時代劇ショー」「アクロバットショー」「パントマイム体験」と3つのイベントを開催。
パントマイム、殺陣、音楽とさまざまなジャンルがミックスされたショーにみんな興奮!
パントマイム体験では、“もしも風船が動かなくなったら? 重くなったら?”と、風船を使ったワークショップを実施。
みんなすぐにコツをつかんで、本当に風船が重そうに見えました!



リハーサル室 おかしな カフェ・ド・しらてぃー

出演: しらてぃー (白川 優希) / 来場者: 約160名
湯山昭作曲の「お菓子の世界」を聴きながら、クイズやゲームに参加したり、体を動かしたり、しらてぃーにお誕生日をお祝いしてもらったり! 甘くておいしそう! お菓子のメロディーを、大人もこどもも楽しみました。
終演後はおなががすいちゃったかも……?



練習室1 よってっ! ないしょの紙しばい小屋

協力: 紙芝居文化推進協議会 / 来場者: 約250名

「カチカチカチ!」という拍子木の音に誘われて中に入ると……。みんなと同じこどもが作ったお話の楽しさや、豊かな表現力に夢中に!
オリジナル紙しばいに、大人も思わずひきこまれました。

練習室3 ハッピーサマー♪ フェイスペイント

出演: BEANS PAINT 宮田 悠子 / 参加者: 約100名

ひまわりやハイビスカス、ヤシの木など、夏らしい8種類のイラストから好きなものを選んでいただき、手や頬にペイント! 「かわいい!」と特に女の子に大人気でした。



トツカーナ5F
イベントスペースにて

練習室4 はぎーにつづけ! キッズサンバカーニバル

出演・講師: 萩原 広充 ほか / 参加者: 約170名

「アゴゴ」「スルド」「シェーカー」に絵を描いたりシールを貼ったりしながら、自分だけの楽器を作りました。その楽器を持って、フィナーレパレードに参加♪
こどもたちの元気なサンバで暑さも吹っ飛ばしてしまいました!!

4Fエリア ベタベタ貼ろう! らくがきタウン

講師: 佐藤 未来(美術家) / 参加者: 約80名

毎年大人気のらくがきワークショップ。朝早くから多くのこどもたちと大人も夢中になりながらマスキングテープをベタベタ……。白い壁がカラフルに彩られました!



Illustration Kanako Ogawa

全館 宝さがし

参加者: 約450名

「伝説の絵」から消えてしまったピース(シール)を、さくらプラザで探し出そう! 絵が完成すると「まほうのじゅもん」がわかり、お宝をゲットできます♪
どこにあるかな……。5つのエリアではミニゲームなどでシールを探してもらいました。

さくらプラザスタッフのアイデアが詰まった「真夏のこども探検隊」。
来年はどのようなテーマ・イベントになるのでしょうか……。そしてこちらが「こどものため」であるのに対し、「大人のため」のイベントもご紹介します!
2018年2月22日~24日「アートパズル2018」開催決定! 音楽、展示、体験……と無料で楽しみいただける企画をご用意しています。詳細は次号(1月1日発行)でご紹介いたしますので、こちらもお楽しみに!

こどものための 芸術の学校

コンテンポラリーダンス



2017年4月～8月
練習室4 他

こどもたちよ、アートはあなたを自由にする！2015年度より開校した「こどものための芸術の学校」が、この春 新しいスタートを切りました。今まで約2～3回毎にさまざまなジャンルの先生から学んできましたが、これからはじっくりと1人の先生に「からだを使ったパフォーマンス」を教わっていきます。まずは振付家・ダンサーの岩淵 貞太さんによる「コンテンポラリーダンス」。



講師
岩淵 貞太(いわぶち ていた)さん

4月

今回より「小学生」「中学生以上」と2つのクラスに分かれてワークショップを行います。今まで合同で行っていた分、仲の良い友だちと離れてしまい少し寂しそうなお子もいましたが、時間が経つにつれ、そんなことも気にせず岩淵さんの言葉に集中していきます。新しい参加者も加わり、新鮮な初回を迎えました。



岩淵さんの考える「身体観(しんたいかん)」は「アミ状の身体」。アミのようにじんわり伸びたり縮んだり、隙間がない強い身体を意識しているそうです。みんなで岩淵さんの背中に体重をかけても、じんわりと伸びあがることで押さえきれません！

6月

だんだん周りとのコミュニケーションも活発になってきた5月。時には岩淵さんを囲み、意見を出し合います。「自分はどうか感じたか？どう思うか？」そんなことを言葉にし伝え合うことも、とても大切です！



5月



今回のリニューアルに伴い、「保護者の方に、日頃の頑張りを見てもらいたい！」と、成果発表会を行うことになりました。発表会に向けて少しずつ、内容を組み立てていきます。

7月



「みんなの動きがカッコよくなってきた！」と思わずモノクロでパシャリ。音楽が聞こえてくれば、もうダンスに見えませんか？岩淵さんのアドバイスによって、化学反応のようにこどもたちの動きが格段に良くなります。

8月

3日間の直前練習を経て、いよいよ本番です。会場は普段よりも広いリハーサル室。窓がある部屋という特性を活かして作り上げた約15分間のプログラムがこちら！



まずは窓際のパフォーマンス。細いスペースに乗っているため、動きが制限されてしまいます。その不自由さの中で作られる身体のシルエット、次々に面白いものが生まれます。

次は2名が対になり、相手の動きを真似します。横1列が縦に交わったり、2組のペアになったりと、時間が経つにつれ全員が混ぜ合う大きな動きに！



続いては、タッチすると相手が固まる、しばらくすると動き出す……ということを繰り返し、密集する・離れるという広がりのあるパフォーマンス。今回の発表会では振り付けを決めず、「ルール」を決め、全体の流れを作りました。



ラストは、3分間かけて立った姿勢から床に寝そべるまでのゆっくりとした動き。3分間、実際にやってみるととても長いです……！先ほどまでの「動」から一転「静」へ。じっくりと見入ってしまう静謐なクライマックスでした。終了後は一列に並び、「ありがとうございました」と全員でお辞儀。保護者の拍手を浴びました。

4か月間こどもたちを指導して下さった岩淵さん、本当にありがとうございました！「こどものための芸術の学校」は、12月まで演出家 中野 成樹(なかの しげき)さんによる演劇ワークショップを開校中。どうぞ見守っててください！

番外編

10月7日(土)戸塚区総合庁舎3F 区民広間にて、「出張！トリエンナーレ Special」を開催。3年に1度開催される現代アートの国際展「ヨコハマトリエンナーレ」の応援企画です。3日間の短期集中練習を経て、4人のこどもたちと岩淵さんが堂々と発表しました。

《協力：マチノトリエンナーレ》



さくらプラザ 特待生による コンサート・レビュー

未来を担う若い演奏家に、さくらプラザ
主催の公演をレポートしてもらおうコーナ
ーです！

Vol. 8

「さくらプラザ特待生」とは

公募により概ね13歳から24歳までの演奏家・表現者を目指している方を認定し、さくらプラザ主催公演を無料で鑑賞することで、自身の芸術活動に活かしてもらおうための事業です。公演を鑑賞をした特待生に、演奏を通して感じたことを自由に書いていただきました。(年齢は鑑賞時点)

「さくらプラザ特待生」の主旨・内容

感受性豊かな青少年期に優れた芸術に触れることは、とても重要で貴重な体験です。しかし、コンサートのチケットは高額なものも多く、鑑賞できる機会は限られます。特にプロの演奏家・表現者を目指す若者にとって、それは個人の体験以上にやがて彼らの表現活動によって市民へと還元される「未来の社会への投資」でもあります。優れた演奏に触れる機会が少しでも多く得られるよう、さくらプラザ主催事業を無料で提供しています。

柳谷 拓斗さん (20歳)

今回の演奏で私が一番感動したのは、「ピアノとヴァイオリンの調和」です。伴奏はヴァイオリンにのっついていくというだけでなく、時にメロディーを担当したりヴァイオリンを支えたり、と様々な役割を担っています。私自身がピアノで伴奏をするときは、ソリストの出入りやつかうがってしまふことがよくあり、どうしてもある種の「作業」になってしまいがちです。前橋さんと松本さんの演奏は音楽が進むにつれ、それぞれの音が自由自在にひとつの着地点(曲の終わり)を目指しているように感じました。それぞれの細かい曲のイマジネーションを大切にしつつ、ひとつの音楽を作り出していく過程を全身で吸収できたのでとても良かったです。



2017/4/15(土)
前橋 汀子プロデュースVol.7
ヴァイオリン珠玉の名曲集3
演奏：前橋 汀子(Vn.)、松本 和将(Pf.)



2017/4/29(土)
市原 愛ソプラノ・リサイタル
～歌の翼に～
演奏：市原 愛(Sop.)、丸山 滋(Pf.)
ゲスト：北鎌倉女子学園コーラス部

小林 萌香さん (14歳)

私は、「ハンマークラヴィア」のソナタについてあまり詳しく知らなかったのですが、若林さんが演奏前に第一楽章から第四楽章までの解説を詳しくして下さったので、よく理解して注意深く演奏を聴くことが出来ました。繊細で粒の揃った音から、迫力たっぷりな力強い音まで全てのテクニックを使って弾く曲の難しさが伝わってきました。また、アンコールの「ソルテの愛の死」にもとても感動しました。クライマックスのピアノを打楽器のようにして弾く所では、地の底から轟々とするような絶望感や激しさを感じさせられました。私もアートバザールや発表会で弾いた、あの同じスタイルの音が出せるのか、とても同じ様な大きな音が出せるのか、とても同じピアノとは思えないほどの不思議です。私はまだまだ足もとにも及びませんが、少しでも近づけるようにもっと演奏技術を身につけていきたいと思います。



2017/5/12(金)
若林 顕セルフプロデュース
ベートーヴェンピアノ・ソナタ
全32曲 Vol.19
演奏：若林 顕(Pf.)



2017/5/27(土)
NAOTOアコースティック
デュオ・コンサート
演奏：NAOTO(Vn.)、榎原大(Pf.)

進 絢瑛さん (18歳)

私はクラシックを専門に勉強している学生ですが、ポップスやジャズも大好きなので、今回、このコンサートを拝聴させていただくことができてとても嬉しかったです。特に、NAOTOさんと榎原さんご自身で作曲された数々の素敵な曲にとても感動しました！ピアノバージョンの楽譜があれば是非演奏させていたいただきたいと思いました。ジャズならではの音使いやリズム、メロディー、演奏法などクラシックにはない世界を味わうことができて、本当によかったです。

山中 里紗さん (15歳)

初めて声楽の方のコンサートを聴きに来ました。曲目を見ると日本歌曲やクラシック、ミュージカルなど誰が聴いても楽しめるプログラムで、さらに北鎌倉女子学園コーラス部の合唱や市原さんの歌声で素敵なコンサートでした。市原さんの歌はその曲に対しての感情が表情や体、声などすべてに表現できているように感じました。ひとつひとつでも綺麗な強弱がつけられていて表情豊かで美しかったです。合唱も透き通った歌声やそろったハーモニーを聴いて、とても感動しました。楽器のコンサートと違って、楽しいコンサートでした。それは私ならではの魅力だなと感じました。私も歌の勉強をしてみたいと思いましたし、友達と歌うこともしてみたいと思いました。



2017/7/2(日)
堤 剛&萩原 麻未 CDリリース記念
デュオ・リサイタル
演奏：堤 剛(Vc.)、萩原 麻未(Pf.)

中山 結菜さん (13歳)

今回の公演も、どの曲も素晴らしい心に響いてきました。特に私が気に入ったのがフランクのチェロソナタです。フランク作曲の曲はまだ聴いたことがなく、初めてでしたがとても良かったです。第一楽章は美しく、第二楽章は何かを追ってくるような曲で、最後は最終楽章のようなクライマックスでした。さらに第三、四楽章は、自然の中にいる感じで、チェロとピアノの追いかけてこの部分はやまびこのようでした。アンコールの曲では、ラフマニノフのヴァカリスが特に印象に残りました。チェロの音が深く、内に秘めた悲しい想い出を思い出しているようで、とても感情的でした。どの曲も堤さんのエネルギーで深いチェロの音色と、萩原さんの小さい音でもホールに届く繊細で綺麗な音がマッチしていて素晴らしい、感動しました。今回の公演で新たに学んだことや、新しいイメージなどを自分の演奏にも活かせるようにしたいと思います。



2017/7/21(金)
若林 顕セルフプロデュース
ベートーヴェンピアノ・ソナタ
全32曲 Vol.20
演奏：若林 顕(Pf.)



2017/9/8(金)
結成30周年記念&最新CD発売記念
トルヴェール・クワルテット
with 小柳美奈子
演奏：須川 展也(Sop.Sax)、彦坂 眞一郎(Alt.Sax)、神保 佳祐(Ten.Sax)、田中 靖人(Bas.Sax)、小柳 美奈子(Pf.)

吹奏楽の達人



秋も深まりつつあり食欲の秋、スポーツの秋、そして芸術の秋ですね！四季のある日本にとって、秋はやはり色々なことが充実する季節なのでしょうか。

さて、今回は夏の吹奏楽コンクールで毎年思うことを中心にお話をしました。今回は第2回までのお話の続きに戻らせていただきます。

吹奏楽に没頭した中学・高校生活の後、私はトランペットを続けたい思いが強く、恩師・中澤忠雄先生の勧めもあり東京音楽大学に進学しました。そこで出会った3人目の恩師・汐澤安彦先生(指揮者)の吹奏楽の授業で、それまで経験してきた自分の音楽に対する知識と考え方の乏しさに度肝を抜かれました。汐澤先生のオーケストラと吹奏楽の合奏の授業はとても刺激的なものでした。

圧倒されるほどの明確な指揮と歯切れの良い的確な指導、とても厳しく妥協を許さない指導にプロフェッショナルな世界を見せつけられた感覚でした。

「f(フォルテ)100個お願いします！」
「p(ピアノ)というのはフォルテです！」合奏でのお言葉はとても極端な指示が多かったように思いますが、今考えたら汐澤先生の指揮・指導は、音大生にとって、プロの道を目指す人や指導者、教育者を目指す者にとっても大切なことを伝えてくださったと確信しています。

それは「音楽が聴く人にとってどのように感じるか？」「演奏者の明確なイメージを持った表現力の大切さ」などでした。吹奏楽は管楽器の合奏ですから、サウンドの方向性が基本的にはまとも易い、それ故にバランスや音程が非常に大切であること、音の立ち上がり(アタック)の大切さについても厳しい指導がありました。

一言で『吹奏楽の爽やかなサウンド』と言いますが、それを表現するのはそう簡単なことではありませんね。汐澤先生の指揮と指導はそのために何をすべきかというものが込められていたと思うのです。

(つづく)

トランペット奏者 杉本 正毅 Masaki SUGIMOTO



TBS系ドラマ「仰げば尊し」モデルである神奈川県立野庭高等学校卒業後、東京音楽大学で津堅直弘氏に師事。東京吹奏楽団で演奏する傍ら日本の主要オーケストラやミュージカル等、また海外アーティストのツアーでも演奏活動をしている。現在、東京吹奏楽団トランペット奏者、洗足学園音楽大学、上野学園大学各講師。日本トランペット協会常任理事。ナカザワキネン野庭吹奏楽団音楽監督。

男は背中 で物語る

トツカミカエリオヤジ

戸塚見返親仁

商店のご主人など、戸塚区内で働いているオヤジ世代をご紹介しますコーナーです。

其之
二十七

一タカガキさんの感じる戸塚の良さとは？

戸塚の魅力はほどよい田舎の風景が残る町といったところでしょうか。50年も暮らしていると、戸塚は自然がどんどん無くなっていく。など言われますが、自然公園をはじめ、里山や谷戸などがちゃんと残っている場所もあります。都会では見ることが出来ない日本の原風景に出会える事ができるのが戸塚かもしれないですね。

一音楽との付き合いをお話いただけますか？

ドラムをやりたいと思ったきっかけが「カーペンターズ」のカレン・カーペンターが叩くドラムを見た事です。彼女は素晴らしい歌声が印象的な方ですが、もともとはジャズ



8月21日に開催された「和太鼓集団 山城組」公演風景

哀愁漂う後ろ姿から何処の親仁さんだろうと想像してみてください。次号では見返りポーズで顔を公開します！

FMとつか「DJトシ」
→トシ・タカガキです！

顔見世



FMとつか Wind Scape パーソナリティ「DJトシ」さん。『貴方の心を優しく元気にするトーク、ミュージック・サプリメントをお届けする1時間』が合い言葉の番組。そのDJトシさんが8月さくらプラザホールで行われた「和太鼓集団 山城組 空」戸塚公演の中で、ドラムを披露している！

長年住んでいるからこそわかる戸塚の良さ、そして「山城組 空」とのつながりをお話いただきました。

ドラマー。華麗なバチさばきに魅了されてしまいました。それからはロック、ヒュージョン、様々なバンドを経験して、現在は Wind Scape の相方であるナオミとのユニット『+Wind (プラスウインド)』でアンビエント・ヒーリングな音楽を皆さんに届けています。

一「山城組 空」とタカガキさんの関わりを教えてください。

「山城組 空」代表の中市博之さんは学生時代の先輩後輩の関係になります。

中市さんは山口の方ではありますが以前は鎌倉市の小学校で音楽の先生をされていました。山口に戻られたあと小学生を中心とした和太鼓のグループを立ち上げられました。「山城組 空」結成後、初めて見た時からファンになってしまいました。

そして、中市さんから「こっち（戸塚）で演奏会やりたいのでなんとか頼む！」と言われたのがきっかけで、去年と今年のさくらプラザホール公演が実現しました。

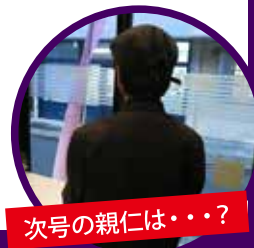
一今後の夢は？

いつか、さくらプラザホールで『+Wind』のコンサートが出来たらと思っています。戸塚の皆さんに「癒やされました!!」と言って頂けたら嬉しいですね。

番組多・放送時間

FMとつか Wind Scape

第1、第3水曜日
午前9時～9時53分
パーソナリティは「ナオミ」と「DJトシ」です。



次号の親仁は・・・？

2017年秋・みなさんはどんな風に過ごしていますか？

食欲の秋？芸術の秋？読書の秋？八代亜紀？ほしのあき？(あれ？途中からちょっと違う笑)

リースちゃんは意外にも……？ 運動の秋!!!

戸塚お稽古道場、連載4回目は「ボルダリング」に挑戦です★

今回は戸塚駅東口から歩いて5分！

クライミングジムライズ

アピタの斜め前、ハックドラッグの地下一階にあります「Climbing Gym RISE」さんへ！

まず「ボルダリング」ってなあに……？ というアナタへ

フリークライミング、スポーツクライミングの一種で最低限の道具(シューズやチョーク)

で岩や石を登るスポーツです(ウィキペディアより引用)。



ジムに入ると壮観！ 色んなカラーのホールド(石)とそり立つ壁!!!
本当にリースちゃん……できるの？

～ふたりのボルダリング経験～

MAYOU: ボルダリング全くの未経験。フットワークの軽さに自信あり(自称)。

NANA-A: ボルダリング経験アリ。持ち前の飲み込みの早さでさらなるレベルアップを狙う(自称)。



まずはボルダリング用のシューズをお借りして……

(裏がツルとしていて、少し小さめに作られてる専用の靴です。)

RISE の代表・原大作さんにボルダリングのルールや、登り方をレクチャーしていただきます。

壁にたくさん付いているホールドの横には細かく英数字が書かれていて同じ番号や同じアルファベットのホールドを使用してゴールを目指していきます。

ホールドがある場所は本当に様々。ん？なんか……めっちゃ頭も使うかも……!!!

まずは入門コースにチャレンジ！

手に滑り止めのチョークをつけて、指定されたスタートのホールドから腕と足を置きます！

どんどん上にあるゴールを目指して進んでいき……

途中でどう身体を動かしているのかわからなくなったりも？

でもそんな時は身体をひねって！体幹を使いましょう！

ゴールにたどり着いたら気持ち良い達成感◎ 結構汗かく～!!!



クライミングジムライズ

協力: Climbing Gym RISE

横浜市戸塚区上倉田町479-2

東横ビル上倉田地下1階

https://www.climbrise.com/

【お問い合わせ】

TEL: 045-443-6009

この連載はさくらプラザYouTubeチャンネルページの動画でも

お楽しみいただけます。

躍動感のある私たち(笑)を是非ご覧ください！

さらなる楽しみを知ってしまった二人。

次回は何をお稽古しちゃうのでしょうか!?

そして欲張った(苦笑)二人はちょっと難易度が高いコースに……。傾斜やスタートの構えからもう必死です……！
……う～ん! やっぱ、このスタートの体勢で限界でした(笑)。

RISE を利用される方は世代も様々で週末は家族連れでとつても賑わうそう♪(子ども用の可愛いコースもあります!)

そして24時までオープンしているので、平日の夜はお仕事終わりのサラリーマン、OLの方々が汗を流す姿も!

(女性の方や、子ども、力にちょっと自信が……という方も全然大丈夫★)

ボルダリングで体幹を鍛えて今秋は健康になりましょう～!

リースちゃんも、ハマっちゃいそうです。

THE LEAPS (ザ・リース)

横浜市戸塚区出身・Gt&Vo.MAYOUとDr&Vo.NANA-Aの幼なじみ同士からなる2ピースバンド。

現在、新譜リリースに向けて絶賛制作中!

■オフィシャルホームページ <http://theleaps.net>

出張! 戸塚新聞

webマガジン「戸塚新聞」の出張版。戸塚区のディープな情報を鋭意取材中! 詳しくは「戸塚新聞」で検索!

#11 食 粋な大人の時間を… 手打ちそば呑み処みず野

戸塚では有名なモリ・フルーツさんの道路を挟んで向かい側にあります。「手打ちそば呑み処みず野」。主婦ライターの出没スポット戸塚図書館に行くときに通りかかりますが、なにぶん女子ひとりでは入りづらい……とスルーしていました。敷居が高いような老舗ではありませんが、蕎麦のおいしさには定評があるという。気軽な雰囲気の中でいただけるこだわりの本格手打ちそば、楽しみです!

店内は思ったより広々としてキレイ。白×濃茶の配色がモダンで、洒落たてぬぐいの額装が飾られ、蕎麦屋に見えない! ランチタイムは蕎麦+丼もののお値打ちなセットが人気で、サラリーマンを中心に常に混雑しているようです。窓辺がカウンター席になっており、女性一人客でも入りやすい雰囲気です。ご主人は秋葉原にある「ふぐ・うなぎ」をメインとした日本料理のお店で働き、それから「川



TOTSUKA JOURNAL

今回取材したお店

手打ちそば
呑み処みず野

横浜市戸塚区戸塚町56
045-864-0045
営業時間:11:30~14:00
17:30~22:00
定休日:日曜日

Information 「戸塚新聞」とは

戸塚区の情報満載のWebマガジン。知っているようで知らない「戸塚」の魅力的な情報を発信。戸塚新聞のすべての記事を読みたい人は「戸塚新聞」で検索!

戸塚新聞 検索



戸塚新聞 みず野 検索

さくらプラザコンサートスケジュール

チケットはお電話(045-866-2501)でご予約いただけます。(一部除外あり)
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

東京六人組コンサート

室内楽の調べ

11/5(日) 14:00
全席指定
一般 3,000円
横浜市民 2,500円




好評発売中

若林 顕セルフプロデュース アンコール Vol.3

ベートーヴェンピアノ・ソナタ 全32曲 Vol.22

4年にわたるシリーズもついに最終回!
19時より2時間のプログラムでお贈ります。

11/10(金)19:00
全席指定
前売 3,000円/当日 2,500円
学生 1,000円



好評発売中

秋のさくらプラザ寄席 第2回

五人の真打による 庚寅長月の会 戸塚公演

11/12(日) 13:30
全席指定
一般 2,500円
横浜市民 2,000円




好評発売中

鈴木理恵子 室内楽シリーズ

Vol.7 ヴァイオリン、ピアノと 弦楽四重奏のコンチェルト!

鈴木 理恵子(Vn)、若林 顕(Pf)、レスパス弦楽四重奏団

12/16(土) 14:00
全席指定 一般 2,500円
ペアチケット 4,500円/学生 1,000円



好評発売中

新春さくらプラザ寄席「泣く落語」

～其の伍 たちきり～

橋家文蔵、入船亭扇辰、柳家小せん、春風亭正太郎、林家楽一

2018.1/7(日) 13:30
全席指定 一般 3,000円
横浜市民 2,500円



好評発売中


鈴木理恵子 室内楽シリーズ

Vol.8 カルテット&ピアノ五重奏 傑作選

鈴木 理恵子(Vn)、吉村 知子(Vn)、川崎 和憲(Vla)、藤森 亮一(Vc)、若林 顕(Pf)

2018.2/18(日) 14:00
全席指定 一般 3,000円
ペアチケット 5,000円/学生 1,500円

チケット さくらプラザ電話予約 11/16(木)14:00～
*窓口販売は翌日9:00から



まもなく発売

アンコール Jazz Night

ジャズと映画の世界へ

Grace Mahya(Vo, Pf)、渡辺裕之(Ds)、楠井五月(B)

2018.3/23(金) 19:00
全席指定 一般 3,000円
ペアチケット 5,000円




まもなく発売

名曲サロン シリーズ

Vol.11 洗足学園音楽大学 コールファンタジア

～心あたたまる午後のひととき～

12/3(日)14:00
全席指定 一般 1,500円/学生 1,000円
会場:ホール



好評発売中


しゅんさくの部屋

「紙コップ鈴でつくる連なる楽器」

紙皿・紙コップ・紙・折り紙・ストローなど、切ったり、色を塗ったり、つなげたりして長い鈴を作るよ!

講師:しゅんさく(現代美術家)

11/19(日)
第1回 10:30～12:00/第2回 13:30～15:00
子ども 300円(材料費込) 締切 11/13(月)



申込受付中

鈴木理恵子 室内楽シリーズ

Vol.12 春を招ぶ バレンタインコンサート

2018.2/3(土)
第1回 11:30/第2回 14:30
全席自由 800円

吉府 充希子(Sop) 新津 耕平(Ten) 片野 敦子(Pf)

会場:リハーサル室

チケット さくらプラザ電話予約 11/15(水)14:00～
*窓口販売は翌日9:00から



まもなく発売


パパといっしょに

アイシングクッキーでXmasツリーをかざろう★

4色のアイシングをつかって4～5枚のクッキーをデコレーション★出来たクッキーはおうちのXmasツリーにかざっちゃおう!

講師:川井まさ美(日本アイシングクッキー協会 認定インストラクター)

12/10(日) 10:30～12:30
親子1組 1,500円(材料費込) 締切 11/30(木)
会場:男女共同参画センター横浜(フォーラム)2F 生活工房



申込受付中

夢いっばいシリーズ Vol.6

ハッピーるんるん♥親子であそぼ♪コンサート

1月号
竹田 えり(作曲家・歌手・声優)

2018.1/24(水) 第1回 10:15/第2回 11:30
全席自由 300円
(0歳より有料)



まもなく発売

30歳以上限定のピアノオーディション **ピアノグランプリ 2018** 応募締切 11/30(木) 必着 *詳細はチラシもしくはホームページをご覧ください。

おたよりコーナー

掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演チケット*をプレゼント!

*ご希望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。
※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。
※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただく場合がございます。

編集後記 秋から冬にかけてのさくらプラザも、イベントが盛りだくさん! 11月10日(金)、12月15日(金)にはオルガンミニコンサートを行いますので遊びに来てくださいね♪(桑田)

戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F

<https://www.totsuka.hall-info.jp>

event@totsuka.hall-info.jp



Vol.26
11-12月号
2017.11.1発行